

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校		平成20年3月21日	仁科 誠		〒420-0822 静岡県静岡市葵区宮前町110-11 (電話) 054-267-6330		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 静岡理科大学		昭和27年3月31日	橋本 新平		〒420-8538 静岡県静岡市葵区相生町12-18 (電話) 054-200-3333		
目的	客室乗務員として機内でお客様の安全を守り、快適な空の旅を提供するために必要な資質である専門知識・技能・マインドの習得を目指す。また英語コミュニケーション能力の向上と関連資格の取得に加え、実践的な演習を通して様々な状況に対応できる現場力を身につける。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養	専門課程		国際エアライン科 エアラインコース		平成21年文部科学省 告示第21号	-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1860	780	300	780	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数		総教員数
60 <small>(学科総定員)</small>		36 <small>(コース実員)</small>		13	23		36
学期制度	前期: 4月 1日～ 9月30日 後期: 10月 1日～ 3月31日			成績評価	成績表: 有 成績評価の基準・方法 学期末に試験を行い平素の成績と合わせて、優・良・可・不可の評価をし、可以上を合格とする。		
長期休み	学年始: 4月 1日～ 4月 8日 夏季: 8月 1日～ 8月31日 冬季: 12月20日～ 1月10日 学年末: 3月21日～ 3月31日			卒業・進級条件	・必須科目に不可が無いこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金に未納がないこと		
生徒指導	クラス担任制: 有 長期欠席者への指導等の対応 保護者と連携して指導			課外活動	課外活動の種類 インターンシップ、海外語学留学ボランティア活動 等 サークル活動: 有		
就職等の状況	主な就職先、業界等 航空業界 就職率^{※1}: 100 % 卒業者に占める就職者の割合^{※2}: 100 % その他 (平成 29 年度卒業者に関する平成30年5月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	・サービス接遇実務検定試験 ・秘書技能検定試験 ・日本語検定 ・ビジネス実務マナー技能検定試験 ・TOEIC L&R ・実用英語技能検定 ・日本赤十字救急法救急員 ・全国手話技能検定 ・Word文書処理技能認定試験 等		
中途退学の現状	中途退学者 0 名 中退率 0 % 平成29年4月1日 在学者 44 名 (平成29年4月1日 入学者を含む) 平成30年3月31日 在学者 44 名 (平成30年3月31日 卒業者を含む)						
	中途退学の主な理由 -						
	中退防止のための取組 開学当初より担任制をとり、授業のある日は朝と帰りのホームルームを行い、学生の状態把握に努めると共に保護者との連携も進めている。						
ホームページ	URL http://www.s-air.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界の基本的な知識は勿論、通常業務以外のイレギュラーにも対応できる力をロールプレイング授業で身に付ける。最新の知識とともに企業が求める思考力や行動様式を取り入れている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

業界や企業ニーズを教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置付けを「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教育課程編成委員会の位置付けに係わる規則」として、またその運営も「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教育課程編成委員会等の規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年2月1日現在

名前	所属	任期	種別
保坂 恭世	公益財団法人 実務技能検定協会 理事長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	業界団体委員
杉山 敏	株式会社フジドリームエアラインズ 客室乗員部 部長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	企業等委員
横田 雅利	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	
小尾 純子	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 国際エアライン科 教員	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	
阪本 知恵	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 国際エアライン科 教員	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回

(開催日時)

第1回 平成30年3月13日(火) 13:30～14:30

第2回 平成30年7月24日(火) 13:30～14:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程に企業が求める思考力や行動様式、技能を取り入れるため、教育課程編成委員会を開催し企業の意見を踏まえ授業内容や授業時間を常に見直しカリキュラムやシラバスを改善している。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学校教育の一環であり企業の特色を学生に教えるのではなく、どの企業でも通用する精神的な強さや臨機応変な対応力を養う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

学校教育の中で順序立てたカリキュラムに沿って継続的な連携授業を行う。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
客室実習	客室乗務員の仕事の二本柱である保安業務とサービス業務を機内実習室を使用し実習する。	株式会社フジドリームエアラインズ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校教員研修規定」を定め、教員研修規定」を定め、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図る為に「教職員研修」を企業など及び研究機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

客室乗務員の訓練施設の見学と新人訓練についての最新情報を入手する。(営業便のクルーブリーフィング、機内業務を見学)
研修期間:株式会社フジドリームエアラインズ 期間:平成30年4月27日 場所:小牧空港

②指導力の修得・向上のための研修等

平成29年8月22日(火) 10:00~15:30 ホール
「発達障害の理解と対応」 静岡県発達障害者支援センター あいら
「在学生・卒業生の大規模調査から考える今後の専門学校教育指導のありかた」 ベネッセ教育総合研究所 高等教育研究室

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

客室乗務員ブラッシュアップ研修 平成30年12月

②指導力の修得・向上のための研修等

平成30年8月27日(月)
教員指導力UP研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	基準(1) 教育理念、目標
(2)学校運営	基準(7) 学校運営
(3)教育活動	基準(2) 教育活動
(4)学修成果	基準(3) 教育成果
(5)学生支援	基準(4) 学生支援
(6)教育環境	基準(5) 教育環境
(7)学生の受入れ募集	基準(6) 学生の受入れ募集
(8)財務	基準(7) 財務
(9)法令等の遵守	基準(7) 法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	基準(8) 社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	基準(8) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学生が参加する企業での研修内容を、より実践的な職業教育効果があるものとする為、事前の打ち合わせを詳細に行う。
また、参加前後の授業内容との連続性をもたせ、体系的に研修を組み立てる。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
サンチョリ・リー	イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社 代表取締役社長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
佐々木 智	矢崎部品株式会社 ものづくり推進室ものづくりセンター 管理統括部管理部労務チーム	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
林 浩昭	株式会社センチュリーアンドカンパニー 業務推進部 副部長兼企画担当	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
正田 恵造	静鉄観光サービス株式会社 総務部長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
小澤 祐介	株式会社ジェイアール東海ホテルズ ホテルアソシア静岡 総支配人室(総務・人事担当)	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
杉山 敏	株式会社フジドリームエアラインズ 客室乗員部 部長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
平岩 美貴代	株式会社ドリームスカイ名古屋 総務部 総務グループ アシスタントマネジャー	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
塩入 康夫	ANAエアポートサービス株式会社 業務部 グローバル人材戦略部 主席部員	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
高木 真美	在校生の保護者	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	在校生の保護者
小野田 まり	卒業生(同窓会会長)	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

<事務局>

仁科 誠 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 校長
山崎 弘 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長
大石 孝 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 総務担当
横田 雅利 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 公表年月日 平成30年6月29日

URL:<http://www.s-air.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動及び学校運営についての理解を求め、企業等の関係者との連携及び協力の推進に資するため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2) 各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
(3) 教職員	教職員数、組織、研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
(8) 学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
(11) その他	その他の教育活動(附帯事業等)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ 公表年月日 平成30年6月29日

URL:<http://www.s-air.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 国際エアライン科エアラインコース) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			コミュニケーションサポートⅠ	始業式、終業式、国内研修、S-AIRフェスタ等学内の行事に参加することを通して、集団行動と集団内のコミュニケーション方法を学ぶことを目的としています。	1通	30	1			○	○	○			
○			立居振舞い	社会に出る前の準備として、立居振舞いと自己表現の強化を図っていきます。所作、表現力、話す力などの就職活動の基本を学び習得することを目標とします。	1後	30	1			○	○		○		
○			キャリアサポートⅠ	就職活動開始までに、必要な基本スキルの修得を目標とします。目指す業界を決めスムーズなスタートを切るため、各種情報の取り方や筆記試験、業界セミナー等を行います。	1通	60	2	○	△		○		○		
○			パソコン演習Ⅰ	それぞれの業界で求められるパソコンスキルを想定し、PowerPointソフトをはじめ、文書作成、表計算の基礎を学習し、パソコン操作に慣れることを目標とします。	1通	60	2			○	○		○	○	
○			英会話Ⅰ	習熟度別のクラス編成授業で、自分自身について英語で表現できることを目標とします。一人ひとりが考えと意見を持つことを重視し、タスクベースのアクティビティを行います。	1通	60	2			○	○		○	○	
○			英語検定Ⅰ	習熟度別のクラス編成により、それぞれが目指す級及びスコアの早期取得を目指します。総合的な英語力育成のため、講義と併せアウトプットの活動も並行して行います。	1通	120	4	○	△		○		○	○	
○			サービス接遇Ⅰ	社会人としてのマナーや接客対応の考え方を学び必要な資質を身に付けることを目標とします。また、サービス接遇検定や日本語検定の取得をめざして検定対策授業も行います。	1通	90	3		○	△	○		○		
○			ボイストレーニングⅠ	自分の声を知り、声のコントロール法を習得することを目標とします。発声・呼吸・滑舌・ストレッチを軸に緊張を緩め、声を磨き鍛えることを学習します。	1通	30	1			○	○		○	○	
○			イメージアップⅠ	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等、メイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき、業界に応じたイメージアップを目標とします。	1後	30	1			○	○		○	○	
○			第二外国語Ⅰ	英語以外の他外国語を学び、異文化理解を深めることを目標とします。中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学びます。	1通	60	2	○	△		○			○	
○			企業研究・インターンシップ	就職活動の第一歩を実際に踏み出すことを目標としています。学生から社会人へと意識を切り替えるため、面接練習やSPI試験対策、企業の方による学内採用説明会などを実施します。	1後	30	1		○		○		○		
○			エアライン英語Ⅰ	航空業界における英語表現、客室乗務員が機内で使用する英語を学びます。サービス英会話に加え、外国人クルーとのコミュニケーションに必要な英会話も習得します。	1後	60	2	○	△		○		○	○	
○			航空基礎知識	エアライン業界で働く上での基本知識となる専門用語やレターコードを学びます。また、航空業界の様々な業務に加え、「機体構造」についても理解を深めます。	1後	30	1	○			○		○	○	
○			面接対応Ⅰ	航空業界の面接試験に対応できる振る舞いや会話術を身に付けることを目標とします。姿勢、発声、表情など第一印象における好感度ポイントを高め、個人及びグループ面接対策も行います。	1通	60	2			○	○		○		
○			航空地理	国内地図、世界地図を使い、主要な空港の場所を覚え、ハブ空港やマルチエアポートについても理解を深めていきます。	1前	30	1	○	△		○		○		

○		客室実習	客室乗務員としての仕事、機内サービスや緊急時の保安対策など実習を通して学ぶことを目標とします。また様々な状況に対応できる力をつけ「おもてなし」の心を養います。	1通	30	1				○	○								
○		一般基礎教養	一般常識をはじめ、時事問題や文化教養について学びます。また業界のWEBテストや筆記試験に対応するための学習も行います	1前	30	1	○	△		○									
○		秘書実務Ⅰ	上司からの仕事の指示にどう考え行動するか想定される様々な状況に対処できる技能や方法を学びます。また秘書検定の取得を目標とします。	1通	30	1	○	△		○									
○		航空運輸概論	航空業界の歴史から今後の展望について学習します。また、客室乗務員として知っておくべき航路や気象、コックピットクルーとの連携についても学びます。	1前	30	1	○	△		○									
○		ユニバーサルサービスⅠ	接客手話、サービス介助および救急救命法など実践形式で学び様々なお客様への対応力を総合的に身に付けます。	1通	30	1	○		△	○									
○		コミュニケーションサポートⅡ	コミュニケーションサポートⅠの継続科目として、学内の各種行事に参加することを通して、集団行動と集団行動でのコミュニケーション方法を身に付けることを目的とします。	2通	30	1				○	○	○	○						
○		キャリアサポートⅡ	学生が目指す業界への就職内定と就職後必要になる社会的知識の習得を目標とします。活動者には採用試験に合わせ個別指導を主に、内定者には社会的知識を得る講座を行います。	2通	60	2				○									
○		パソコン演習Ⅱ	パソコンの幅広い使い方を習得することを目的とします。前半は検定に挑戦します。後半は写真やビデオの編集を行いビデオ作成を実習します。	2通	60	2				○	○								
○		英会話Ⅱ	1年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開ができる力の育成を目標とします。毎授業、異なったテーマでそれに基づいた会話の実践をペア・グループワークで学びます。	2通	60	2				○	○								
○		英語検定Ⅱ	習熟度別のクラス編成によりそれぞれが目指す級、スコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。	2通	120	4	○	△		○									
○		サービス接遇Ⅱ	社会人としてのマナーや接客時に心掛けなければならないことを引き続き学習します。資格として文書検定、ビジネス実務、サービス接遇検定上位級合格を目標とします。	2通	90	3				○									
○		ボイストレーニングⅡ	的確に声のコントロールが出来ることを目標とします。1年次に習得したことを強化し応用編として好感が持てる声を目指してトレーニングを行います。	2通	30	1				○	○								
○		イメージアップⅡ	1年次に引き続き、全身のイメージアップを目的に色彩（カラーコーディネート）を学び自身を更に輝かせるためのブラッシュアップを行います。	2通	30	1				○	○								
○		第二外国語Ⅱ	英語以外の他外国語を学び、異文化理解を深めることを目標とします。一年次に引き続き中国語または韓国語を選択し、ビジネスや接客の場面で使われる会話を中心に学びます。	2通	60	2	○	△		○									
○		エアライン英語Ⅱ	1年次の内容に加え、キャプテンアナウンスの聞き取り、お客様への丁寧な会話表現など、機内でのお客様対応に必要な英語力の習得を目標とします。採用試験での英語面接対策も行います。	2通	90	3	○	△		○									
○		面接対応Ⅱ	1年次の学習に加え、企業研究をする事により、内定に近づくための実践的な面接対応力を身に付けることを目標とします。（個人面接、グループ面接、グループディスカッション）	2通	60	2				○	○								
○		エアライン総合実習	1年次に学んだ基礎を元に、さらに専門的なイレギュラー対応、スペシャル対応などを学び、より実践に近い学習で就職前のスキルアップを目指します。	2通	30	1				○	○								
○		フィジカルトレーニング	業界で働くための体力づくりを中心に実施します。その中でチームワークや集中力を身に付け、社会に出るための準備を行います。	2通	60	2				○	○	○							

○		秘書実務Ⅱ	工作上想定される様々な状況に対応する応用力を身に付けます。また、検定の上位級の面接試験を通して就職対策の「必要な人柄作り」を目指します。	2 通	30	1		○	○	○			
○		ユニバーサルサービスⅡ	講義に加え、外部での実習を通してお子様や高齢者と接する際の気くばりや対応力を身につけます。サービス介助士資格を持つ教員が指導します。	2 通	30	1	○	△	○	○	○	○	
○		海外研修	海外渡航にて日本以外の異文化を体験することを目的とします。滞在時には、英語でのコミュニケーションに挑戦し、日ごろの英語学習を実践します。	2 前	90	3			○	○	○		
合計			36科目	1860単位時間(62単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
全科目の成績評価において不可の評価(評価点60点未満)がなく、年間出席時限数が年間消化時限数の85%以上であり、学納金に未納がないこと。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校		平成20年3月21日	仁科 誠		〒420-0822 静岡県静岡市葵区宮前町110-11 (電話) 054-267-6330		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 静岡理科大学		昭和27年3月31日	橋本 新平		〒420-8538 静岡県静岡市葵区相生町12-18 (電話) 054-200-3333		
目的	航空機の円滑な運航を支援する空港地上支援スタッフの業務を理解し、グランドスタッフからハンドリング分野までの高い専門性を習得する。カウンター業務や空港内サービス、機側業務など幅広い知識とプロ意識を持った人材を育成する。業界にふさわしい立ち居振る舞い、専門英語力、臨機応変な接客スキルを身につけ、即戦力となることを目標とする。専攻により航空貨物の国家資格を日指すことができる。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養	専門課程		国際エアライン科 グランドスタッフコース		平成21年文部科学省 告示第21号	-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1860	780	330	780	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員	専任教員数		兼任教員数		総教員数
60 (学科総定員) 人の内数		55 (コース実員) 人	13 人		21 人		34 人
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末に試験を行い平素の成績と合わせて、優・良・可・不可の評価をし、可以上を合格とする。		
長期休み	■学年始: 4月1日～4月8日 ■夏季: 8月1日～8月31日 ■冬季: 12月20日～1月10日 ■学年末: 3月21日～3月31日		卒業・進級条件		・必須科目に不可が無いこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金に未納がないこと		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 保護者と連携して指導		課外活動		■課外活動の種類 インターンシップ、海外語学留学ボランティア活動等 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 航空業界 ■就職率^{※1}: 100% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2}: 97% ■その他 (平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等		・サービス接遇実務検定試験 ・日本語検定 ・ビジネス実務マナー技能検定試験 ・TOEIC L&R ・実用英語技能検定 ・国際航空貨物取扱士 ・危険物取扱者免許(乙種第4類) ・日本赤十字救急法救急員 ・全国手話技能検定 ・Word文書処理技能認定試験等		
中途退学の現状	■中途退学者 1名 平成29年4月1日 在学者 34名 (平成29年4月1日 入学者を含む) 平成30年3月31日 在学者 33名 (平成30年3月31日 卒業者を含む)		■中退率 2.9%				
	■中途退学の主な理由 進路変更のため ■中退防止のための取組 開学当初より担任制をとり、授業のある日は朝と帰りのホームルームを行い、学生の状態把握に努めると共に保護者との連携も進めている。						
ホームページ	URL http://www.s-air.ac.jp/						

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

旅客実習、グランドハンドリングとともに業界の基本的、実践的な知識は勿論、最新の課題への対応力をつけるためにロールプレイングも取り入れる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

業界や企業ニーズを教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置付けを「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教育課程編成委員会の位置付けに係わる規則」として、またその運営も「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教育課程編成委員会等の規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年2月1日現在

名前	所属	任期	種別
保坂 恭世	公益財団法人 実務技能検定協会 理事長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	業界団体委員
平岩 美貴代	株式会社ドリームスカイ名古屋 総務部 総務グループ アシスタントマネージャー	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	企業等委員
塩入 康夫	ANAエアポートサービス株式会社 業務部 主席部員	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	企業等委員
横田 雅利	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	
小尾 純子	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 国際エアライン科 教員	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	
中西 裕子	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 国際エアライン科 教員	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回

(開催日時)

第1回 平成30年3月13日(火) 15:00～16:00

第2回 平成30年7月24日(火) 15:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程に企業が求める思考力や行動様式、技能を取り入れるため、教育課程編成委員会を開催し企業の意見を踏まえ授業内容や授業時間を常に見直しカリキュラムやシラバスを改善している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

変化の著しい航空業界において最新の情報を常に授業に反映させる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

実践的な話を交え対応方法を学ぶとともに、安全と定時性を重要視する分野で働くやりがいや面白さを伝える。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
グランドハンドリングⅠ	航空機の到着から出発までの時間に行う作業の手順、使用車両、器材などを学ぶ。	中部スカイサポート株式会社
旅客実習	国内線・国際線のチェックイン業務、ゲート業務、ロビーサービスなどを学ぶ。	株式会社ドリームスカイ名古屋

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校教員研修規定」を定め、教員研修規定」を定め、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図る為に「教職員研修」を企業など及び研究機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

グランドハンドリングブラッシュアップ研修(貨物、手荷物、機側業務の最新情報を入手する。)
 研修機関: 中部スカイサポート株式会社 期間: 平成29年12月18日 場所: セントレア空港
 旅客ハンドリングスタッフブラッシュアップ研修(チェックイン、ゲート、ドアサイド業務の最新情報を入手する。)
 研修機関: 株式会社ドリームスカイ名古屋 期間: 平成29年12月21日 場所: セントレア空港

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成29年8月22日(火) 10:00~15:30 ホール
 「発達障害の理解と対応」 静岡県発達障害者支援センター あいら
 「在学生・卒業生の大規模調査から考える今後の専門学校教育指導のありかた」 ベネッセ教育総合研究所 高等教育研究室

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

旅客ハンドリング、グランドハンドリングのブラッシュアップ研修
 期間: 平成30年12月、平成31年3月

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成30年8月27日(月)
 教員指導力UP研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準(1) 教育理念、目標
(2) 学校運営	基準(7) 学校運営
(3) 教育活動	基準(2) 教育活動
(4) 学修成果	基準(3) 教育成果
(5) 学生支援	基準(4) 学生支援
(6) 教育環境	基準(5) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準(6) 学生の受入れ募集
(8) 財務	基準(7) 財務
(9) 法令等の遵守	基準(7) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準(8) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	基準(8) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学生が参加する企業での研修内容を、より実践的な職業教育効果があるものとする為、事前の打ち合わせを詳細に行う。また、参加前後の授業内容との連続性をもたせ、体系的に研修を組み立てる。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
サンチョリ・リー	イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社 代表取締役社長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
佐々木 智	矢崎部品株式会社 ものづくり推進室ものづくりセンター 管理統括部管理部労務チーム	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
林 浩昭	株式会社センチュリーアンドカンパニー 業務推進部 副部長兼企画担当	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
正田 恵造	静鉄観光サービス株式会社 総務部長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
小澤 祐介	株式会社ジェイアール東海ホテルズ ホテルアソシア静岡 総支配人室(総務・人事担当)	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
杉山 敏	株式会社フジドリームエアラインズ 客室乗員部 部長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
平岩 美貴代	株式会社ドリームスカイ名古屋 総務部 総務グループ アシスタントマネジャー	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
塩入 康夫	ANAエアポートサービス株式会社 業務部 グローバル人材戦略部 主席部員	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
高木 真美	在校生の保護者	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	在校生の保護者
小野田 まり	卒業生(同窓会会長)	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

<事務局>

仁科 誠 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 校長
山崎 弘 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長
大石 孝 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 総務担当
横田 雅利 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 公表年月日 平成30年6月29日

URL:<http://www.s-air.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動及び学校運営についての理解を求め、企業等の関係者との連携及び協力の推進に資するため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2) 各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
(3) 教職員	教職員数、組織、研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
(8) 学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
(11) その他	その他の教育活動(附帯事業等)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ 公表年月日 平成30年6月29日

URL:<http://www.s-air.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 国際エアライン科グランドスタッフコース) 平成30年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			コミュニケーションサポートⅠ	始業式、終業式、国内研修、S-AIRフェスタ等学内の行事に参加することを通して、集団行動と集団内のコミュニケーション方法を学ぶことを目的としています。	1通	30	1			○	○	○				
○			立居振舞い	社会に出る前の準備として、立居振舞いと自己表現の強化を図っていきます。所作、表現力、話す力などの就職活動の基本を学び習得することを目標とします。	1後	30	1			○	○		○			
○			キャリアサポートⅠ	就職活動開始までに、必要な基本スキルの修得を目標とします。目指す業界を決めスムーズなスタートを切るため、各種情報の取り方や筆記試験、業界セミナー等を行います。	1通	60	2	○	△		○		○			
○			パソコン演習Ⅰ	それぞれの業界で求められるパソコンスキルを想定し、PowerPointソフトをはじめ、文書作成、表計算の基礎を学習し、パソコン操作に慣れることを目標とします。	1通	60	2			○	○		○	○		
○			英会話Ⅰ	習熟度別のクラス編成授業で、自分自身について英語で表現できることを目標とします。一人ひとりが考えと意見を持つことを重視し、タスクベースのアクティビティを行います。	1通	60	2			○	○		○	○		
○			英語検定Ⅰ	習熟度別のクラス編成により、それぞれが目指す級及びスコアの早期取得を目指します。総合的な英語力育成のため、講義と併せアウトプットの活動も並行して行います。	1通	120	4	○	△		○		○	○		
○			サービス接遇Ⅰ	社会人としてのマナーや接客対応の考え方を学び必要な資質を身に付けることを目標とします。また、サービス接遇検定や日本語検定の取得をめざして検定対策授業も行います。	1通	90	3		○	△	○		○			
○			ボイストレーニングⅠ	自分の声を知り、声のコントロール法を習得することを目標とします。発声・呼吸・滑舌・ストレッチを軸に緊張を緩め、声を磨き鍛えることを学習します。	1通	30	1			○	○		○	○		
○			イメージアップⅠ	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等、メイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき、業界に応じたイメージアップを目標とします。	1後	30	1			○	○		○	○		
○			第二外国語Ⅰ	英語以外の他外国語を学び、異文化理解を深めることを目標とします。中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学びます。	1通	60	2	○	△		○			○		
○			企業研究・インターンシップ	就職活動の第一歩を実際に踏み出すことを目標としています。学生から社会人へと意識を切り替えるため、面接練習やSPI試験対策、企業の方による学内採用説明会などを実施します。	1後	30	1		○		○		○			
○			TIMⅠ	各国のパスポート・ビザ・検疫などの規則についてTravel Information Manualを使用し読み取る力をシステムを用いて身に付けます。	1前	60	2			○	○		○			
○			航空基礎知識	エアライン業界で働く上での基本知識となる専門用語やレターコードを学びます。また、航空業界の様々な業務に加え、「機体構造」についても理解を深めます。	1後	30	1	○			○		○	○		
○			フィジカルトレーニングⅠ	業務に欠かせない気力・体力を培うための授業です。様々な種目を取り入れることにより楽しみの要素を加えながら、規律とチームワークの大切さを学びます。	1後	60	2			○	○			○		
○			空港無線Ⅰ	空港内の作業で使用する無線の基礎を学びます。無線特有のフォネティックコードを使いこなせることを目標とします。	1後	30	1	○		△	○			○		

○		航空地理	国内地図、世界地図を使い地理全般を理解します。それぞれの空港の場所と日本からの就航地やハブ空港についても学びます。	1 前	30	1	○	△	○	○				
○		旅客実習	搭乗カウンター、ゲート、アナウンスなどの旅客ハンドリングの基礎知識と様々な場面に対応できる判断力を演習により習得する授業です。	1 通	30	1			○	○	○	○	○	○
○		グランド ハンドリング I	航空機の到着から出発までの時間に駐機場において行われる作業の種類と手順、使用機材等について学びます。駐機場と空港内の連絡を含め、業務のすべてを理解します。	1 通	30	1	○	△	○			○	○	
○		危険物 I	IATAディプロマ（国際貨物取扱士）試験対策として特に危険物分野を学習します。危険物の種類と性質や消防法による各種規定を学びます	1 通	30	1	○	△	○				○	
○		ユニバーサル サービス I	接客手話、サービス介助および救急救命法など実践形式で学び様々なお客様への対応力を総合的に身に付けます。	1 通	30	1	○		△	○		○	○	
○		コミュニケーション サポート II	コミュニケーションサポート I の継続科目として、学内の各種行事に参加することを通して、集団行動と集団内でのコミュニケーション方法を身に付けることを目的とします。	2 通	30	1			○	○	○	○		
○		キャリアサポート II	学生が目指す業界への就職内定と就職後必要になる社会的知識の習得を目標とします。活動者には採用試験に合わせ個別指導を主に、内定者には社会的知識を得る講座を行います。	2 通	60	2		○		○		○		
○		パソコン演習 II	パソコンの幅広い使い方を習得することを目的とします。前半は検定に挑戦します。後半は写真やビデオの編集を行いビデオ作成を実習します。	2 通	60	2			○	○		○	○	
○		英会話 II	1年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開ができる力の育成を目標とします。毎授業、異なったテーマでそれに基づいた会話の実践をペア・グループワークで学びます。	2 通	60	2			○	○		○	○	
○		英語検定 II	習熟度別のクラス編成によりそれぞれが目指す級、スコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。	2 通	120	4	○	△	○			○	○	
○		サービス接遇 II	社会人としてのマナーや接客時に心掛けなければならないことを引き続き学習します。資格として文書検定、ビジネス実務、サービス接遇検定上位級合格を目標とします。	2 通	90	3		○		○		○		
○		ボイスト レーニング II	的確に声のコントロールが出来ることを目標とします。1年次に習得したことを強化し応用編として好感が持てる声を目指してトレーニングを行います。	2 通	30	1			○	○		○	○	
○		イメージアップ II	1年次に引き続き、全身のイメージアップを目的に色彩（カラーコーディネート）を学び自身を更に輝かせるためのブラッシュアップを行います。	2 通	30	1			○	○		○	○	
○		第二外国語 II	英語以外の他外国語を学び、異文化理解を深めることを目標とします。1年次に引き続き中国語または韓国語を選択し、ビジネスや接客の場面で使われる会話を中心に学びます。	2 通	60	2	○	△	○			○	○	
○		TIM II	1年次の応用として、さらに速読力をつけるとともに、入国案内に必要な実践的なご案内の英会話を授業に取り入れ接客対応力を身に付けることを目標とします。	2 通	60	2		○	△	○		○		
○		フィジカル トレーニング II	業界で働くための体力づくりを中心に実施します。その中でチームワークや集中力を身に付け社会に出る準備を行います。	2 後	60	2			○	○	○		○	
○		エアライン 総合実習	1年次に学んだ基礎を元に、さらに専門的なイレギュラー対応、スペシャル対応などを学びます。実践に近い授業で就職前のスキルアップを目指します。	2 前	30	1			○	○		○		
○		空港無線 II	ゲート、機側、デスクなどグランドスタッフが使う可搬（無線）の使い方を実践的に学びます。	2 通	60	2	○		△	○			○	

○		グラウンド ハンドリングⅡ	1年次に引き続き運航支援業務の知識習得を目標とします。ウェイトアンドバランス、航空路図などを学びます。	2 通	60	2	○	△	○		○	
○		ユニバーサル サービスⅡ	講義に加え、外部での実習を通してお子様や高齢者と接する際の気くばりや対応力を身につけます。サービス介助士資格を持つ教員が指導します。	2 通	30	1	○	△	○	○	○	○
○		海外研修	海外渡航にて日本以外の異文化を体験することを目的とします。滞在時には、英語でのコミュニケーションに挑戦し、日ごろの英語学習を実践します。	2 前	90	3		○		○	○	
合計			36科目	1860単位時間(62単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
全科目の成績評価において不可の評価(評価点60点未満)がなく、年間出席時限数が年間消化時限数の85%以上であり、学納金に未納がないこと。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校		平成20年3月21日	仁科 誠		〒420-0822 静岡県静岡市葵区宮前町110-11 (電話) 054-267-6330		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 静岡理工科大学		昭和27年3月31日	橋本 新平		〒420-8538 静岡県静岡市葵区相生町12-18 (電話) 054-200-3333		
目的	観光・交通・宿泊などの専門知識をベースに、魅力ある旅行の企画力や提案力・コーディネート力を身に付け、国家資格である旅行業務取扱管理者資格を取得するとともに、海外旅行先や訪日旅行客とのコミュニケーションにおける英語力も習得し、観光・旅行業界への就職を目指すことを目的とする。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養	専門課程		観光・ホテルブライダル科 観光ビジネスコース		平成25年文部科学省 告示第3号	—	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1860	930	330	600	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 (学科総定員) 人の内数		8 (コース実員) 人		5 人	31 人	36 人	
学期制度	前期: 4月 1日～ 9月30日 後期: 10月 1日～ 3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末に試験を行い平素の成績と合わせて、優・良・可・不可の評価をし、可以上を合格とする。		
長期休み	■学年始: 4月 1日～ 4月 8日 ■夏季: 8月 1日～ 8月31日 ■冬季: 12月20日～ 1月10日 ■学年末: 3月21日～ 3月31日			卒業・進級条件	<ul style="list-style-type: none"> ・必須科目に不可が無いこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金に未納がないこと 		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 保護者と連携して指導			課外活動	■課外活動の種類 インターンシップ、海外語学留学ボランティア活動等 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 観光・旅行業界 ■就職率^{※1}: 100 % ■卒業者に占める就職者の割合^{※2}: 100 % ■その他 (平成 29 年度卒業者に関する平成30年5月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	<ul style="list-style-type: none"> ・総合旅行業務取扱管理者 ・国内旅行業務取扱管理者 ・国内旅程管理主任者 ・旅行地理検定(海外・国内) ・世界遺産検定 ・AXESSオペレーションスペシャリスト検定(国際・国内) ・サービス接客実務検定試験 ・ビジネス電話実務検定試験 ・日本語検定 ・TOEIC L&R ・実用英語技能検定 等 		
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 14.2 % 平成29年4月1日 在学者 7名 (平成29年4月1日 入学者を含む) 平成30年3月31日 在学者 6名 (平成30年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更のため ■中退防止のための取組 開学当初より担任制をとり、授業のある日は朝と帰りのホームルームを行い、学生の状態把握に努めると共に保護者との連携も進めている。						
ホームページ	URL http://www.s-air.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

全国旅行業協会主催の国内旅行業務取扱管理者や総合旅行業務取扱管理者の取得に必要な教育時間を基に、旅行業界において必要な技能・知識等の企業ニーズを取り入れるために教育課程編成委員会を開催し、企業等の関係者の意見を踏まえ授業科目および授業時間を編成している。また、教育内容は業界のニーズにマッチするように常に見直し、カリキュラムおよびシラバスの内容を改善している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

業界や企業ニーズを教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置付けを「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教育課程編成委員会の位置付けに係わる規則」として、またその運営も「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教育課程編成委員会等の規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年2月1日現在

名前	所属	任期	種別
今井 利昭	公益社団法人 静岡県観光協会 しずおかツーリズムコーディネーター	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	業界団体委員
正田 恵造	静鉄観光サービス株式会社 総務部長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	企業等委員
横田 雅利	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	
牧田 行雄	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 観光・ホテルブライダル科 学科長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	
立石 公平	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 観光・ホテルブライダル科 教員	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回

(開催日時)

第1回 平成30年3月15日 9:30～10:30

第2回 平成30年7月26日 9:30～10:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

業務上求められるスキルとして、新たな検定試験の提案いただき、授業内容に反映し受験を行っている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

指導・評価する企業は、地域に密着し実際にツアープランを作成販売している旅行会社で、学生自らが身近な地域におけるツアープランを考えるとときに、具体例を挙げて指導する事ができる会社を選定する。また専門書には載っていない実践的な話も踏まえながらツアープランの面白さを伝える事ができる企業風土を持っている事も考慮する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

旅行の行程作成を、手順や注意事項、移動手段を踏まえ作成し、実際に実施してみる。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
ツアープランニング基礎	パッケージツアーの成り立ちから金額の構成などの基本的な知識を学習し、モデルコースの作成とツアーの催行、添乗業務を実際に経験し、実施後のプレゼンテーションまでを行う。	静鉄観光サービス株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校教員研修規定」を定め、教員研修規定」を定め、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図る為に「教職員研修」を企業など及び研究機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

旅行会社での実務研修

期間:平成29年12月19日 対象:教職員1名 実施企業:静鉄観光サービス株式会社

概要:カウンター業務者についての研修内容全般講習、オリジナルツアー作成の手順講習

②指導力の修得・向上のための研修等

平成29年8月22日(火) 10:00~15:30 ホール

「発達障害の理解と対応」 静岡県発達障害者支援センター あいら

「在学生・卒業生の大規模調査から考える今後の専門学校教育指導のありかた」 ベネッセ教育総合研究所 高等教育研究室

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

旅行業務ブラッシュアップ研修 平成30年12月

②指導力の修得・向上のための研修等

平成30年8月27日(月)

教員指導力UP研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	基準(1) 教育理念、目標
(2)学校運営	基準(7) 学校運営
(3)教育活動	基準(2) 教育活動
(4)学修成果	基準(3) 教育成果
(5)学生支援	基準(4) 学生支援
(6)教育環境	基準(5) 教育環境
(7)学生の受入れ募集	基準(6) 学生の受入れ募集
(8)財務	基準(7) 財務
(9)法令等の遵守	基準(7) 法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	基準(8) 社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	基準(8) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

オリジナルテキスト化の推進を進めることにより、本学生にフォーカスした教育ができるようにということで、サブテキスト化する科目の選定を計画し、作成を行うよう講師との打ち合わせを行っている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
サンチョリ・リー	イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社 代表取締役社長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
佐々木 智	矢崎部品株式会社 ものづくり推進室ものづくりセンター 管理統括部管理部労務チーム	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
林 浩昭	株式会社センチュリーアンドカンパニー 業務推進部 副部長兼企画担当	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
正田 恵造	静鉄観光サービス株式会社 総務部長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
小澤 祐介	株式会社ジェイアール東海ホテルズ ホテルアソシア静岡 総支配人室(総務・人事担当)	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
杉山 敏	株式会社フジドリームエアラインズ 客室乗員部 部長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
平岩 美貴代	株式会社ドリームスカイ名古屋 総務部 総務グループ アシスタントマネジャー	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
塩入 康夫	ANAエアポートサービス株式会社 業務部 グローバル人材戦略部 主席部員	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
高木 真美	在校生の保護者	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	在校生の保護者
小野田 まり	卒業生(同窓会会長)	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

<事務局>

仁科 誠 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 校長
山崎 弘 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長
大石 孝 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 総務担当
横田 雅利 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 公表年月日 平成30年6月29日

URL:<http://www.s-air.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動及び学校運営についての理解を求め、企業等の関係者との連携及び協力の推進に資するため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2) 各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
(3) 教職員	教職員数、組織、研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
(8) 学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
(11) その他	その他の教育活動(附帯事業等)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ 公表年月日 平成30年6月29日

URL:<http://www.s-air.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 観光・ホテルブライダル科観光ビジネスコース) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			コミュニケーションサポートⅠ	始業式、終業式、国内研修、S-AIRフェスタ等学内の行事に参加することを通して、集団行動と集団内のコミュニケーション方法を学ぶことを目的としています。	1通	30	1			○	○	○	○		
○			立居振舞い	社会に出る前の準備として、立居振舞いと自己表現の強化を図っていきます。所作、表現力、話す力などの就職活動の基本を学び習得することを目標とします。	1後	30	1			○	○		○		
○			キャリアサポートⅠ	就職活動開始までに、必要な基本スキルの修得を目標とします。目指す業界を決めスムーズなスタートを切るため、各種情報の取り方や筆記試験、業界セミナー等を行います。	1通	60	2	○	△		○		○		
○			パソコン演習Ⅰ	それぞれの業界で求められるパソコンスキルを想定し、PowerPointソフトをはじめ、文書作成、表計算の基礎を学習し、パソコン操作に慣れることを目標とします。	1通	60	2			○	○		○	○	
○			英会話Ⅰ	習熟度別のクラス編成授業で、自分自身について英語で表現できることを目標とします。一人ひとりが考えと意見を持つことを重視し、タスクベースのアクティビティを行います。	1通	60	2			○	○		○	○	
○			英語検定Ⅰ	習熟度別のクラス編成により、それぞれが目指す級及びスコアの早期取得を目指します。総合的な英語力育成のため、講義と併せアウトプットの活動も並行して行います。	1通	120	4	○	△		○		○	○	
○			サービス接遇Ⅰ	社会人としてのマナーや接客対応の考え方を学び必要な資質を身につける事を目標とします。また、サービス接遇検定や日本語検定取得をめざして検定対策授業も行います。	1通	90	3		○	△	○		○		
○			ボイストレーニングⅠ	自分の声を知り、声のコントロール法を習得することを目標とします。発声・呼吸・滑舌・ストレッチを軸に緊張を緩め、声を磨き鍛えることを学習します。	1通	30	1			○	○		○	○	
○			イメージアップⅠ	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等、メイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目指します。	1後	30	1			○	○		○	○	
○			第二外国語Ⅰ	英語以外の他外国語を学び、異文化理解を深めることを目標とします。中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学びます。	1通	60	2	○	△		○			○	
○			企業研究・インターンシップ	就職活動の第一歩を実際に踏み出すことを目標としています。学生から社会人へと意識を切り替えるため、面接練習やSPI試験対策、企業の方による学内採用説明会などを実施します。	1後	30	1		○		○		○		
○			国内運賃料金業務	JR各社についての運賃計算規則・料金計算規則を学習し、かつ各割引方法も学習します。国内航空運賃、貸切バス、フェリー、宿泊についての計算の基本ルールも学習します。	1通	30	1	○			○		○		
○			国内観光地理	日本国内における観光箇所の名称・所在地・プロフィール・温泉・祭・名産品など、観光資源全般に関する知識について学習します。	1通	30	1	○			○		○		
○			旅行業務基礎	旅行スタッフとして知っておかなければならない旅行業法、ルール(約款)から始まり、ツアーパンフレットの読解、添乗業務の基礎的な知識を学習し、国内旅程管理主任者を取得します。	1通	30	1	○			○		○		

○		アクセス実習Ⅰ	国際航空予約における航空座席、ホテル、旅行商品などを手配するためのコンピュータ予約システムであるAXESSを使いその操作について実習を行いながら発券、旅行業務について学習します。	1通	30	1				○	○		○					
○		ツアープランニング基礎	パッケージツアーの成り立ちから、金額の構成など基本的な知識を学習し、モデルツアーの企画を行います。	1前	60	2	○		△	○	○	○	○	○	○			
○		旅行業法規	旅行業法と旅行業約款と旅行業でのルールについて学習し、国内旅行業務取扱管理者試験に挑戦します。更に海外における基礎知識（都市名、都市コード、航空会社コード）を学習します。	1通	30	1	○				○		○					
○		世界遺産基礎	海外観光資源の基礎として、特に有名な世界遺産についての知識の習得を目的とします。基本的な世界遺産を学習したのち世界遺産検定3級にもチャレンジします。	1後	60	2	○				○		○					
○		添乗業務概論	添乗員としての業務内容についての知識を学習します。行程の確認作業から始まり、終了の方法、業務報告の際の注意点を学習します。国内旅程管理主任者講習の受講も行います。	1後	30	1	○				○		○					
○		添乗業務演習	実際の行程の説明、挨拶、案内確認作業についてロールプレイングを交え実地研修に備えます。最終的に国内旅程管理主任者講習実地研修の受講を経て取得も行います。	1後	30	1	○		△	○	○	○						
○		コミュニケーションサポートⅡ	コミュニケーションサポートⅠの継続科目として、学内の各種行事に参加することを通して、集団行動と集団内でのコミュニケーション方法を身に付けることを目的とします。	2通	30	1				○	○	○	○					
○		キャリアサポートⅡ	学生が目指す業界への就職内定と、就職後必要になる社会的知識の修得を目標とします。活動者には採用試験に合わせた個別指導を主に、内定者には社会的知識を得る講座を行います。	2通	60	2		○			○		○					
○		パソコン演習Ⅱ	パソコンの幅広い使い方を習得することを目的とします。前半は、検定に挑戦します。後半は、写真やビデオの編集を行いビデオ作製を実習します。	2通	60	2				○	○		○	○				
○		英会話Ⅱ	1年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開ができる力の育成を目標とします。毎授業、異なったテーマでそれに基づいた会話の実践をペア・グループワークで学びます。	2通	60	2				○	○		○	○				
○		英語検定Ⅱ	習熟度別のクラス編成によりそれぞれが目指す級、スコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。	2通	120	4	○	△			○		○	○				
○		サービス接遇Ⅱ	社会人としてのマナーや接客時に心掛けなければならないことを引き続き学習します。資格として文書検定、ビジネス実務、サービス接遇検定上位級合格を目標とします。	2通	90	3			○		○		○					
○		ボイストレーニングⅡ	的確に声のコントロールが出来ることを目標とします。1年次に習得したことを強化し応用編として好感が持てる声を目指してトレーニングを行います。	2通	30	1					○	○		○	○			
○		イメージアップⅡ	1年次に引き続き、全身のイメージアップを目的に色彩（カラーコーディネート）を学び自身を更に輝かせるためのブラッシュアップを行います。	2通	30	1					○	○		○	○			
○		第二外国語Ⅱ	英語以外の他外国語を学び、異文化理解を深めることを目標とします。一年次に引き続き中国語または韓国語を選択し、ビジネスや接客の場面で使われる会話を中心に学びます。	2通	60	2	○	△			○		○	○				
○		海外観光地理	海外ツアーにおける観光地の知識を得ることを目的とします。更に人気観光地周辺での観光系所を学習し海外地理検定にもチャレンジしていきます。	2通	30	1	○					○		○				
○		海外実務総合	海外渡航時必要な知識、時差に始まり旅券申請に必要な知識、航空運賃規則の見方、免税などを学習します。	2通	90	3	○					○		○				

○		旅行業務応用	ツアーパンフレットの読解の習得を完成させます。実際のお客様を想定したロールプレイング形式を取り入れお客様対応、提案要素を絡めて学習、実習します。	2 通	60	2	○		△	○			○
○		アクセス実習Ⅱ	AXESS国際航空予約システムを実際に操作しながら、海外航空便のフライト情報、空席照会など予約操作の基礎を実習形式で学習します。	2 通	30	1			○	○		○	
○		ツアー プランニング演習	ツアー企画の演習を目的とします。まずは、国内の宿泊ツアーの行程作成演習を学習します。金額の算出や見学時間、移動時間の時間管理についても学習します。	2 後	60	2		○		○			○
○		観光ガイド手法	観光地理の知識を活用し、観光情報をどのように提供したらよいかを学習します。市内の観光名所を観光案内ガイドと共に巡る体験も取り入れながら学習します。	2 後	30	1	○		△	○	○		○
○		海外研修	海外渡航にて日本文化以外の異文化を体験することを目的とします。滞在時には、英語でのコミュニケーションに挑戦し日頃の英語学習を実践します	2 前	90	3			○		○	○	
合計			36科目	1860単位時間(62単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
全科目の成績評価において不可の評価(評価点60点未満)がなく、年間出席時限数が年間消化時限数の85%以上であり、学納金に未納がないこと。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校		平成20年3月21日	仁科 誠		〒420-0822 静岡県静岡市葵区宮前町110-11 (電話) 054-267-6330		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 静岡理科大学		昭和27年3月31日	橋本 新平		〒420-8538 静岡県静岡市葵区相生町12-18 (電話) 054-200-3333		
目的	ホテルおよびブライダル関連の幅広い知識とサービス技能を身に付け、ホテルビジネス実務検定試験やレストランサービス技能検定、WBW認定ウエディングスペシャリスト等の資格を取得するとともに、外国人のお客様とのコミュニケーションに必要な実践的英語力も習得し、県内外のホテルやブライダル専門施設への就職を目的とする。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養	専門課程		観光・ホテルブライダル科 ホテル・ブライダルコース		平成25年文部科学省 告示第3号	—	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1860	630	510	720	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員	専任教員数		兼任教員数	総教員数	
60 (学科総定員) 人の内数		64 (コース実員) 人	5 人		30 人	36 人	
学期制度	前期: 4月1日～9月30日 後期: 10月1日～3月31日			成績評価	成績表: 有 成績評価の基準・方法 学期末に試験を行い平素の成績と合わせて、優・良・可・不可の評価をし、可以上を合格とする。		
長期休み	学年始: 4月1日～4月8日 夏季: 8月1日～8月31日 冬季: 12月20日～1月10日 学年末: 3月21日～3月31日			卒業・進級条件	・必須科目に不可が無いこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金に未納がないこと		
生徒指導	クラス担任制: 有 長期欠席者への指導等の対応 保護者と連携して指導			課外活動	課外活動の種類 インターンシップ、海外語学留学ボランティア活動等 サークル活動: 有		
就職等の状況	主な就職先、業界等 ホテル・ブライダル業界 就職率^{※1}: 100% 卒業者に占める就職者の割合^{※2}: 100% その他 (平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報)			主な資格・検定等	・ホテルビジネス実務検定試験 ・WBW認定ウエディングスペシャリスト ・レストランサービス技能検定 ・サービス接客実務検定試験 ・ビジネス実務マナー技能検定試験 ・ビジネス電話実務検定試験 ・日本語検定 ・TOEIC L&R ・実用英語技能検定 ・Word文書処理技能認定試験 ・Excel表計算処理技能認定検定等		
中途退学の現状	中途退学者 0名 中退率 0% 平成29年4月1日 在学者 46名 (平成29年4月1日 入学者を含む) 平成30年3月31日 在学者 46名 (平成30年3月31日 卒業者を含む)						
	中途退学の主な理由 —						
	中退防止のための取組 開学当初より担任制をとり、授業のある日は朝と帰りのホームルームを行い、学生の状態把握に努めると共に保護者との連携も進めている。また個人面談の機会を増やしている。						
ホームページ	URL http://www.s-air.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ホテル・ブライダル業界において必要な技能・知識等を取り入れるために教育課程編成委員会を開催。業界関係者の意見を踏まえ、授業科目および授業時間を編成している。教育内容は業界のニーズを基に常に見直し、カリキュラムおよびシラバスの内容を改善している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

業界や企業ニーズを教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置付けを「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教育課程編成委員会の位置付けに係わる規則」として、またその運営も「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教育課程編成委員会等の規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年2月1日現在

名前	所属	任期	種別
今井 利昭	公益社団法人 静岡県観光協会 しずおかツーリズムコーディネーター	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	業界団体委員
小澤 祐介	株式会社ジェイアール東海ホテルズ ホテルアソシア静岡 総支配人室	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	企業等委員
横田 雅利	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	
牧田 行雄	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 観光・ホテルブライダル科 学科長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	
立石 公平	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 観光・ホテルブライダル科 教員	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	
草場 美奈子	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 観光・ホテルブライダル科 教員	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回

(開催日時)

第1回 平成30年3月15日 11:00～12:00

第2回 平成30年7月26日 11:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

現場の重要性に対する話を基に、インターンシップ先と国内研修訪問先の充実を図っている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

現在も現場でオペレーションを担当しているスタッフを講師として招き、入社後に現場ですぐに使える知識と技術修得を基本とする。また、業務内容解説・それに沿ったロールプレイングを行い、専門書には載っていない実践的な話も踏まえながらホテル・ブライダル業界で働く魅力を伝えていく。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

学内もしくはホテルの現場で授業を実施する。ブライダル部門や宴会部門、料飲部門や宿泊部門など各部門の責任者クラスの方々より、実習形式で実施していただく。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
ホテル概論	企業連携により、宿泊・料飲分野の業務を実習形式で学ぶほか、ホテル業界の幅広い知識を身に付け、勉強の成果としてホテルビジネス実務検定試験合格を目指します。	株式会社ジェイアール東海ホテルズ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校教員研修規定」を定め、教員研修規定」を定め、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図る為に「教職員研修」を企業など及び研究機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

ホテルブライダルブラッシュアップ研修
期間:平成29年10月6日(金)10:00~18:30 対象:教員1名 場所:ホテルアソシア静岡
概要:フロント業務・ロビー業務の振り返りや、サービスオペレーションについての聞き取りを行った。

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成29年8月22日(火) 10:00~15:30 ホール
「発達障害の理解と対応」 静岡県発達障害者支援センター あいら
「在学生・卒業生の大規模調査から考える今後の専門学校教育指導のありかた」 ベネッセ教育総合研究所 高等教育研究室

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

ホテルもしくはゲストハウスでのブラッシュアップ研修
期間:平成30年10月に実施予定(職種が多い為、複数日で設定)

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成30年8月27日(月)
教員指導力UP研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準(1) 教育理念、目標
(2) 学校運営	基準(7) 学校運営
(3) 教育活動	基準(2) 教育活動
(4) 学修成果	基準(3) 教育成果
(5) 学生支援	基準(4) 学生支援
(6) 教育環境	基準(5) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準(6) 学生の受入れ募集
(8) 財務	基準(7) 財務
(9) 法令等の遵守	基準(7) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準(8) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	基準(8) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価『教育活動』の改善策について、カリキュラムとして組み入れては無いが、夏季休暇を利用したインターンシップをコース主導で行っている。受け入れ先は豊富で、教育連携も視野に入れている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
サンチヨリ・リー	イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社 代表取締役社長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
佐々木 智	矢崎部品株式会社 ものづくり推進室ものづくりセンター 管理統括部管理部労務チーム	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
林 浩昭	株式会社センチュリーアンドカンパニー 業務推進部 副部長兼企画担当	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
正田 恵造	静鉄観光サービス株式会社 総務部長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
小澤 祐介	株式会社ジェイアール東海ホテルズ ホテルアソシア静岡 総支配人室(総務・人事担当)	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
杉山 敏	株式会社フジドリームエアラインズ 客室乗員部 部長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
平岩 美貴代	株式会社ドリームスカイ名古屋 総務部 総務グループ アシスタントマネジャー	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
塩入 康夫	ANAエアポートサービス株式会社 業務部 グローバル人財戦略部 主席部員	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
高木 真美	在校生の保護者	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	在校生の保護者
小野田 まり	卒業生(同窓会会長)	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生、校長等

<事務局>

仁科 誠 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 校長
山崎 弘 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長
大石 孝 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 総務担当
横田 雅利 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 公表年月日 平成30年6月29日

URL:<http://www.s-air.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動及び学校運営についての理解を求め、企業等の関係者との連携及び協力の推進に資するため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2) 各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業生数、主な就職先
(3) 教職員	教職員数、組織、研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
(8) 学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
(11) その他	その他の教育活動(附帯事業等)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ 公表年月日 平成30年6月29日

URL:<http://www.s-air.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 観光・ホテルブライダル科ホテル・ブライダルコース) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			コミュニケーションサポートⅠ	始業式、終業式、国内研修、S-A-I-Rフェスタ等学内の各種行事に参加する事を通して、集団行動と集団内のコミュニケーション方法を学ぶ事を目的とします。	1通	30	1			○	○	○	○		
○			立居振舞い	社会に出る前の準備として、立居振舞いと自己表現の強化を図っていきます。所作、表現力、話す力などの就職活動の基本を学び習得することを目標とします。	1後	30	1			○	○		○		
○			キャリアサポートⅠ	就職活動開始までに、必要な基本スキルの修得を目標とします。目指す業界を決めスムーズなスタートを切るため、各種情報の取り方や筆記試験、業界セミナー等を行います。	1通	60	2	○	△		○		○		
○			パソコン演習Ⅰ	それぞれの業界で求められるパソコンスキルを想定し、PowerPointソフトをはじめ、文書作成、表計算の基礎を学習し、パソコン操作に慣れることを目標とします。	1通	60	2			○	○		○	○	
○			英会話Ⅰ	習熟度別のクラス編成授業で、自分自身について英語で表現できることを目標とします。一人ひとりが考えと意見を持つことを重視し、タスクベースのアクティビティを行います。	1通	60	2			○	○		○	○	
○			英語検定Ⅰ	習熟度別のクラス編成により、それぞれが目指す級及びスコアの早期取得を目指します。総合的な英語力育成のため、講義と併せアウトプットの活動も並行して行います。	1通	120	4	○	△		○		○	○	
○			サービス接遇Ⅰ	社会人としてのマナーや接客対応の考え方を学び必要な資質を身に付ける事を目標とします。また、サービス接遇検定や日本語検定取得を目指して検定対策授業も行います。	1通	90	3			○	△	○		○	
○			ボイストレーニングⅠ	自分の声を知り、声のコントロール法を習得することを目標とします。発声・呼吸・滑舌・ストレッチを軸に緊張を緩め、声を磨き鍛えることを学習します。	1通	30	1			○	○		○	○	
○			イメージアップⅠ	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等のメイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目標とします。	1通	30	1			○	○		○	○	
○			第二外国語Ⅰ	英語以外の他外国語を学び、異文化理解を深めることを目標とします。中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学びます。	1通	60	2	○	△		○			○	
○			企業研究・インターンシップ	就職活動の第一歩を実際に踏み出すことを目標としています。学生から社会人へと意識を切り替えるため、面接練習やSPI試験対策、企業の方による学内採用説明会などを実施します。	1後	30	1			○		○		○	
○			料飲・宴会サービス実務	フルコース料理のサービス技術とサービス英会話の修得を目標とします。カトラリーやテーブルの名前、テーブルセッティングの方法などを実践で学び、確実に実力をつけていきます。	1通	60	2			○	○			○	
○			ホテル概論	ホテル業界を体系的に理解することを目標とします。知識の基礎を気付くため、業界の歴史やホテル名、職種ごとの業務など順序良く学び、ホテルビジネス実務検定試験にも挑戦します。	1通	60	2	○			○			○	○
○			ブライダル概論Ⅰ	ブランナーをはじめ、ブライダル業界の仕事や業務理解を目標とします。また、挙式・披露宴の成り立ちを知るために、式のスタイルやペーパーアイテム、衣装知識まで幅広く学びます。	1通	30	1	○			○			○	
○			テーブルコーディネート	テーマごとのテーブルコーディネートを考え、セッティングできることを目標とします。感性を磨くため、色彩の知識や季節のコーディネートを作るなど、実践を交え学んでいきます。	1通	60	2			○	○				○

○		ブライダル フラワー	装花制作の基本技術を活用し、ブライダル装花の制作スキルの習得を目標とします。ブライダル特有の技術習得のため、テーブル装花、ブーケのデザイン・作成を実践し学びます。	2 通	60	2			○	○				○	
○		ホテル マネジメント	ホテルをビジネスとしてとらえる視点を養うことを目標とします。接客部門以外の仕事も学び、ホテルについて一層の理解を深めます。またホテル運営の数字にも触れていきます。	2 前	30	1	○	△		○				○	
○		プロトコール	国際儀礼を学び、賓客接遇の基本を身に付けることを目標とします。テーブル席次や国旗の取り扱い、呼称、敬称等、数多くある国家間の取り決めを学びます。	2 後	30	1	○	△		○				○	
○		海外研修	海外渡航にて日本以外の異文化を体験することを目的とします。滞在時には、英語でのコミュニケーションに挑戦し、日頃の英語学習を実践します。	2 後	90	3		○						○	○
合計			36科目	1860単位時間(62単位)											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
全科目の成績評価において不可の評価(評価点60点未満)がなく、年間出席時限数が年間消化時限数の85%以上であり、学納金に未納がないこと。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校		平成20年3月21日	仁科 誠		〒420-0822 静岡県静岡市葵区宮前町110-11 (電話) 054-267-6330		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 静岡理科大学		昭和27年3月31日	橋本 新平		〒420-8538 静岡県静岡市葵区相生町12-18 (電話) 054-200-3333		
目的	世界を舞台に、コミュニケーション能力を発揮出来る国際感覚を兼ね備え、読む・聞く・話す・書くという英語の4技能をバランス良く習得することで、語学力を強みとした多岐にわたる業界で活躍できる人材の育成を目標とする。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養	専門課程		国際コミュニケーション科 ランゲージコース		平成21年文部科学省 告示第21号	—	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1860	930	330	600	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員	専任教員数		兼任教員数	総教員数	
60 (学科総定員) 人の内数		35 (コース実員) 人	5 人		31 人	36 人	
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■前期: 4月 1日～ 9月30日 ■後期: 10月 1日～ 3月31日 		成績評価		<ul style="list-style-type: none"> ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末に試験を行い平素の成績と合わせて、優・良・可・不可の評価をし、可以上を合格とする。		
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始: 4月1日～4月8日 ■夏季: 8月1日～8月31日 ■冬季: 12月20日～1月10日 ■学年末: 3月21日～3月31日 		卒業・進級条件		<ul style="list-style-type: none"> ・必須科目に不可が無いこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金に未納がないこと 		
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 保護者と連携して指導		課外活動		<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 インターンシップ、海外語学留学ボランティア活動 等		
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界等 英語を使用する観光系企業、外資系企業、貿易・物流関連企業		主な資格・検定等		<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC L&R ・TOEIC Speaking ・実用英語技能検定 ・日商ビジネス英語検定 ・中国語検定 ・ハングル能力検定 ・マナー・プロトコール検定 ・サービス接遇実務検定試験 ・ビジネス実務マナー技能検定試験 ・ビジネス電話実務検定試験 ・日本語検定 等 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■就職率^{※1}: 100% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2}: 94% ■その他 (平成 29 年度卒業者に関する平成30年5月1日 時点の情報)						
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学者 1名 平成29年4月1日 在学者 28名 (平成29年4月1日 入学者を含む) 平成30年3月31日 在学者 27名 (平成30年3月31日 卒業者を含む) 		<ul style="list-style-type: none"> ■中退率 3.6% 				
	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学の主な理由 進路変更のため						
	<ul style="list-style-type: none"> ■中退防止のための取組 開学当初より担任制をとり、授業のある日は朝と帰りのホームルームを行い、学生の状態把握に努めると共に保護者との連携も進めている。						
ホームページ	URL http://www.s-air.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

個人留学に向けた事前学習及び準備に必要な教育時間を基に、「世界の中の日本人」としてグローバル人材に必要な技能・知識・素養等の企業ニーズ把握を目的に教育課程編成委員会を開催し、関係者の意見を踏まえ授業科目および授業時間を編成している。また、教育内容については業界の潮流に齟齬が出ない様常に見直し、カリキュラムおよびシラバスの内容を改善している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

外資系企業ニーズを教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置付けを「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教育課程編成委員会の位置付けに係わる規則」として、またその運営も「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教育課程編成委員会等の規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年2月1日現在

名前	所属	任期	種別
齋藤 一彦	一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 管理本部 広報室 シニアコーディネーター	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	業界団体委員
サンチョリ・リー	イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社 代表取締役社長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	企業等委員
佐々木 智	矢崎部品株式会社 ものづくり推進室ものづくりセンター 管理統括部管理部労務チーム	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	企業等委員
横田 雅利	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	
大石 麻美	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 国際コミュニケーション科 学科長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	
アンソニー・クック	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 国際コミュニケーション科 教員	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	
関根 由美子	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 国際コミュニケーション科 教員	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回

(開催日時)

第1回 平成30年 3月14日 13:30～14:30

第2回 平成30年 7月25日 13:30～14:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ・英会話力育成の為に施策について新たな取り組みとして、本コース1年生全員に対し、毎日25分のオンライン英会話学習及び授業内でも複合的にオンライン英会話学習の導入を開始した。
- ・県の国際課より依頼を受け、中国人高校生と英語を共通言語とした交流機会の場を設けた。
- ・学習に際して不可欠となる精神面の強さについての対策を講じてはどうかとご意見を反映し、心理学系授業の導入を開始した。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

指導・評価して頂く企業は、語学教育や文化交流事業を展開する世界最大級の教育機関で、毎年本コース学生の語学留学提携企業として、既に実績のある会社を選定している。また留学の準備だけではなく、言語運用能力やグローバル人材とはどういうものなのかという視点についても授業展開して頂くことが出来る点も考慮している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

当科目は本校担当講師と企業との連携講義によって行う。連携企業は月1回のペースで講義を実施し、その他の回は本校担当講師が企業との相談の上で講義を展開していく。基本事項毎に企業の担当講師の確認と評価・改善項目を教授頂き、次のステップへとつなげ、全講義終了後に学生毎の総合評価を付ける。この評価を基に本校担当講師がこの科目の評価を学生毎に付ける。

(3) 具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
海外生活研修	海外語学留学を通して、海外で生活するための語学力と生活力を身につけることを目標とする。留学前には留学英会話演習として、自己紹介等の基礎から学ぶ。	イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校教員研修規定」を定め、教員研修規定」を定め、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図る為に「教職員研修」を企業など及び研究機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

留学研修

期間:平成30年3月25日～4月1日 研修先:EFオックスフォード校(イギリス)

概要:本コース学生のカリキュラムにある海外個人留学と同様の経験を通じ、運営に於ける問題点の把握及び改善と事前・事後教育に有効と思われる事項の掘り起こし

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成29年8月22日(火) 10:00～15:30 ホール

「発達障害の理解と対応」 静岡県発達障害者支援センター あいら

「在学生・卒業生の大規模調査から考える今後の専門学校教育指導のありかた」 ベネッセ教育総合研究所 高等教育研究室

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

<英語教育公開講座2018>

期間:平成30年7月28日 対象:教員1名 主催:神田外語グループ

概要:英語によるコミュニケーション能力の育成及びICTを用いたアクティブ・ラーニング技法について学び、授業展開に反映する。

<企業研修>

期間:平成30年12月を予定 対象:教員1名 研修先:ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社

概要:国際物流に関する知識の習得、現場で求められる人材像の認識を通じ、授業展開及び就職指導に反映する。

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成30年8月27日(月)

教員指導力UP研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準(1) 教育理念、目標
(2) 学校運営	基準(7) 学校運営
(3) 教育活動	基準(2) 教育活動
(4) 学修成果	基準(3) 教育成果
(5) 学生支援	基準(4) 学生支援
(6) 教育環境	基準(5) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準(6) 学生の受入れ募集
(8) 財務	基準(7) 財務
(9) 法令等の遵守	基準(7) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準(8) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	基準(8) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

「理念を掲げると共に学生一人一人への意識付けを行うことが大切」との指摘があった。資格取得の検定対策関連が多い中、学生の学びに対するモチベーションを維持し意識を向上させていく上で、学生一人一人が自分自身の留学先について下調べを行い小冊子の作成及びパワーポイントによるプレゼンテーション発表を行っている。また、引き続きボランティア活動を含めアウトプット機会の提供推進を行っている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
サンチョリ・リー	イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社 代表取締役社長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
佐々木 智	矢崎部品株式会社 ものづくり推進室ものづくりセンター 管理統括部管理部労務チーム	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
林 浩昭	株式会社センチュリーアンドカンパニー 業務推進部 副部長兼企画担当	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
正田 恵造	静鉄観光サービス株式会社 総務部長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
小澤 祐介	株式会社ジェイアール東海ホテルズ ホテルアソシア静岡 総支配人室(総務・人事担当)	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
杉山 敏	株式会社フジドリームエアラインズ 客室乗員部 部長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
平岩 美貴代	株式会社ドリームスカイ名古屋 総務部 総務グループ アシスタントマネジャー	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
塩入 康夫	ANAエアポートサービス株式会社 業務部 グローバル人材戦略部 主席部員	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
高木 真美	在校生の保護者	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	在校生の保護者
小野田 まり	卒業生(同窓会会長)	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

<事務局>

仁科 誠 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 校長
山崎 弘 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長
大石 孝 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 総務担当
横田 雅利 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 公表年月日 平成30年6月29日

URL:<http://www.s-air.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動及び学校運営についての理解を求め、企業等の関係者との連携及び協力の推進に資するため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2) 各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
(3) 教職員	教職員数、組織、研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
(8) 学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
(11) その他	その他の教育活動(附帯事業等)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ 公表年月日 平成30年6月29日

URL:<http://www.s-air.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 国際コミュニケーション科ランゲージコース) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			コミュニケーションサポートⅠ	始業式、終業式、国内研修、S-AIRフェスタ等学内の各種行事に参加する事を通して、集団行動と集団内のコミュニケーション方法を学ぶ事を目的とします。	1 通	30	1			○	○	○	○		
○			立居振舞い	社会に出る前の準備として、立居振舞いと自己表現の強化を図っていきます。所作、表現力、話す力などの就職活動の基本を学び習得することを目標とします。	1 後	30	1			○	○		○		
○			キャリアサポートⅠ	就職活動開始までに、必要な基本スキルの修得を目標とします。目指す業界を決め、スムーズなスタートを切るため、各種情報の取り方や筆記試験、業界セミナー等を行います。	1 通	60	2	○	△		○		○		
○			パソコン演習Ⅰ	それぞれの業界で求められるパソコンスキルを想定し、PowerPointソフトをはじめ、文書作成、表計算の基礎を学習し、パソコン操作に慣れることを目標とします。	1 通	60	2			○	○		○	○	
○			英会話Ⅰ	習熟度別のクラス編成授業で、自分自身について英語で表現できることを目標とします。一人ひとりが考えと意見を持つことを重視し、タスクベースのアクティビティを行います。	1 通	60	2			○	○		○	○	
○			英語検定Ⅰ	習熟度別のクラス編成により、それぞれが目指す級及びスコアの早期取得を目指します。総合的な英語力育成のため、講義と併せアウトプットの活動も並行して行います。	1 通	120	4	○	△		○		○	○	
○			サービス接遇Ⅰ	社会人としてのマナーや接客対応の考え方を学び必要な資質を身につける事を目標とします。また、サービス接遇検定や日本語検定取得をめざして検定対策授業も行います。	1 通	90	3			○	△	○		○	
○			ボイストレーニングⅠ	自分の声を知り、声のコントロール法を習得することを目標とします。発声・呼吸・滑舌・ストレッチを軸に緊張を緩め、声を磨き鍛えることを学習します。	1 通	30	1			○	○		○	○	
○			イメージアップⅠ	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等のメイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目標とします。	1 通	30	1			○	○		○	○	
○			第二外国語Ⅰ	英語以外の他外国語を学び、異文化理解を深めることを目標とします。中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学びます。	1 通	60	2	○	△		○			○	
○			企業研究・インターンシップ	就職活動の第一歩を実際に踏み出すことを目標としています。学生から社会人へと意識を切り替えるため、面接練習やSPI試験対策、企業の方による学内採用説明会などを実施します。	1 後	30	1			○		○		○	
○			外国語会話Ⅰ	実生活に密着した「伝わる」日常英会話の習得を目標とします。より自然な会話例をもとに、具体的な状況を設定し身近且つ実践的なトピックをテーマに取り上げ学習します。	1 通	30	1	○	△		○			○	
○			TOEIC SWI	英語のスピーキング能力を判定するTOEIC Speaking & Writing検定100点以上の取得を目標とします。英語のアウトプットを軸とし、実践的な本番形式の授業を行います。	1 通	30	1	○	△		○		○		
○			海外生活研修	海外語学留学を通して、海外生活を快適に送るための文化理解をホームステイ等を通して身につけることを目標にします。留学前には下調べをし、各自ガイドブックを作成します。	1 通	90	3	○		△	○	○	○	○	○
○			海外文化研修	海外語学留学を通して、海外で生活するための語学力と生活力を身につけることを目標にします。留学前には留学英会話演習として、自己紹介の基礎から学びます。	1 後	60	2	○		△	○	○	○	○	

○		Active English I	提案型英会話と児童英会話から選択し1、2年生合同で行います。提案型英会話はフレーズ学習を軸としたグループ発表、児童英会話は保育園での模擬授業実施を目標とします。	1通	30	1	○		○	○	○							
○		ビジネス英語 I	日商ビジネス英語検定3級の取得を目標とします。英文レターや英文E-mailについての読解及び作成スキルの習得と共に、海外貿易に関する基礎知識を学びます。	1通	30	1	○		○									○
○		比較文化研究	グローバル社会において必要な「異文化理解力」を身につけることを目標とします。世界各国の文化を比較しながら、自国文化や世界事情についても理解を深めます。	1通	30	1	○	△		○								○
○		ネゴシエーション	様々な職業における英会話ロールプレイングを通じて、職業理解を深め交渉力を身に付けることを目標とします。業界ごとの専門用語や言い回しについても慣れ親しみながら学びます。	1後	30	1			○	○								○
○		コミュニケーションサポートII	コミュニケーションサポートIの継続科目として、学内の各種行事に参加する事を通し、集団行動と集団内のコミュニケーション方法を身に付ける事を目的とします。	2通	30	1			○	○	○	○						
○		キャリアサポートII	学生が目指す業界への就職内定と、就職後必要になる社会的知識の修得を目標とします。活動者には採用試験に合わせた個別指導を主に、内定者には社会的知識を得る講座を行います。	2通	60	2		○		○								○
○		パソコン演習II	パソコンの幅広い使い方を習得することを目的とします。前半は、検定に挑戦します。後半は、写真やビデオの編集を行いビデオ作成を実習します。	2通	60	2			○	○								○
○		英会話II	1年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開ができる力の育成を目標とします。毎授業、異なったテーマでそれに基づいた会話の実践をペア・グループワークで学びます。	2通	60	2			○	○								○
○		英語検定II	習熟度別のクラス編成によりそれぞれが目指す級、スコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。	2通	120	4	○	△		○								○
○		サービス接遇II	社会人としてのマナーや接客時に心掛けなければならないことを引き続き学習します。資格としてビジネス実務マナーや文書検定、サービス接遇検定の上級合格を目標とします。	2前	90	3			○		○							○
○		ボイストレーニングII	的確に声のコントロールが出来ることを目標とします。1年次に習得したことを強化し応用編として好感が持てる声を目指してトレーニングを行います。	2通	30	1				○	○							○
○		イメージアップII	1年次に引き続き、全身のイメージアップを目標に色彩（カラーコーディネート）を学び、自身を更に輝かせるためのブラッシュアップを行います。	2前	30	1				○	○							○
○		第二外国語II	英語以外の他外国語を学び、異文化理解を深めることを目標とします。1年次に引き続き中国語または韓国語を選択し、ビジネスや接客の場面で使われる会話を中心に学びます。	2通	60	2	○	△		○								○
○		外国語会話II	自分の言葉で、自分の想いを発信出来る会話力育成を目指します。即戦力として活躍出来る様、プレゼンテーションや面会の約束・取り消しなどビジネスシーンを想定し学びます。	2通	30	1	○	△		○								○
○		TOEIC SWII	1年次に引き続き、更なるハイスコア取得を目標とします。既習の基本範例をもとに、陳述問題・留守番電話応答問題等も新たに学び、難問にも対応出来る応用力を身につけます。	2通	60	2	○	△		○								○
○		Active English II	提案型英会話と児童英会話から選択し1、2年生合同で行います。提案型英会話はフレーズ学習を軸としたグループ発表、児童英会話は保育園での模擬授業実施を目標とします。	2通	60	2	○		△	○	○	○						
○		ワールドトレンド	各自がまとめた、英語でのプレゼンテーション発表を目標とします。国内外の旬のトピックを取り上げ、インターネットや洋書などを検索媒体とした英語による情報収集を行います。	2後	30	1				○								○
○		ビジネス英語II	日本の文化・風習を基本に、国際儀礼への学びを通じて世界標準の国際的マナー習得を目標とします。印象の良い柔軟な対応力を育むことで、活躍の場と自身の視野を広げます。	2通	30	1	○			○								○

○		Drama English	映画・TV・新聞などから発信される最新の英語・句の英語の習得を目標とします。ロールプレイングや動画制作など多角的なアウトプットを行うことで豊かな表現力を育みます。	2後	60	2		○	△	○		○		
○		English Reading	各自の英語レベルに応じた書籍の多読を通じ、イディオム・語彙力の強化を目標とします。読了ごとに書籍内容の要約と感想を各自がまとめ、読書記録の蓄積を可視化し自信に繋がります。	2後	90	3			○	○		○		
○		英文ドキュメント技法	外資系企業の就職活動にも対応できる様、英文履歴書の作成技法習得を目指します。英文によるオリジナル履歴書をそれぞれのアピール材料と個性を引き出しながら作成します。	2前	30	1	○	△		○		○		
合計				36科目			1860単位時間(62単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
全科目の成績評価において不可の評価(評価点60点未満)がなく、年間出席時限数が年間消化時限数の85%以上であり、学納金に未納がないこと。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校		平成20年3月21日	仁科 誠		〒420-0822 静岡県静岡市葵区宮前町110-11 (電話) 054-267-6330		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 静岡理工科大学		昭和27年3月31日	橋本 新平		〒420-8538 静岡県静岡市葵区相生町12-18 (電話) 054-200-3333		
目的	日本が誇るホスピタリティ精神と質の高いサービス接遇の力を身に付けると共に、オーダーメイド感覚のご案内に必要な情報収集能力、整理能力、またそれらを瞬時に発信する提案力を養い、企業や様々な商業施設で「顔」となるおもてなしのスペシャリストの育成を目的とします。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養	専門課程		国際コミュニケーション科 コンシェルジュコース		平成21年文部科学省 告示第21号	—	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1860	930	270	660	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 (学科総定員) 人の内数		17 (コース実員) 人		4 人	28 人	32 人	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末に試験を行い平素の成績と合わせて、優・良・可・不可の評価をし、可以上を合格とする。		
長期休み	■学年始: 4月1日～4月8日 ■夏季: 8月1日～8月31日 ■冬季: 12月20日～1月10日 ■学年末: 3月21日～3月31日			卒業・進級条件	<ul style="list-style-type: none"> ・必須科目に不可が無いこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金に未納がないこと 		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 保護者と連携して指導			課外活動	■課外活動の種類 インターンシップ、海外語学留学ボランティア活動等 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 接客サービス業 ■就職率^{※1} : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} : 100 % ■その他 (平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報)			主な資格・検定等	<ul style="list-style-type: none"> ・ホスピタリティ検定 ・サービス接遇実務検定試験 ・日本語検定 ・ビジネス実務マナー技能検定試験 ・ビジネス電話実務検定試験 ・ビジネス文書技能検定試験 ・日本赤十字社救急法救急員 ・TOEIC L&R ・実用英語技能検定 ・Word文書処理技能認定試験 ・Excel表計算処理技能認定試験 等 		
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0 % 平成29年4月1日 在学者 14名 (平成29年4月1日 入学者を含む) 平成30年3月31日 在学者 14名 (平成30年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 — ■中退防止のための取組 開学当初より担任制をとり、授業のある日は朝と帰りのホームルームを行い、学生の状態把握に努めると共に保護者との連携も進めている。						
ホームページ	URL http://www.s-air.ac.jp/						

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
 企業や様々な商業施設で「顔」となるおもてなしのスペシャリストを目指した人材輩出に於いて、必要な技能・知識・姿勢等の企業ニーズを取り入れるために教育課程編成委員会を開催し、業界団体及び企業関係者の意見を踏まえた授業科目、授業時間を編成していく。教育内容については業界全体のニーズに対応するよう常に柔軟な見直しを図り、カリキュラム・シラバスの内容を改善していく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
 業界や企業ニーズを教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置付けを「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教育課程編成委員会の位置付けに係わる規則」として、またその運営も「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教育課程編成委員会等の規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年2月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
齋藤 一彦	一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 管理本部 広報室 シニアコーディネーター	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	業界団体委員
井澤 友行	株式会社センチュリーアンドカンパニー インフォメーション事業・研修事業本部 東日本インフォメーション営業部 副部長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	企業等委員
横田 雅利	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	
大石 麻美	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 国際コミュニケーション科 学科長	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	
関根 由美子	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 国際コミュニケーション科 教員	平成30年2月1日～ 平成31年1月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回

(開催日時)

第1回 平成30年 3月14日 13:30～14:30

第2回 平成30年 7月25日 13:30～14:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ・事実を伝えることに徹し、時系列に則って報告できるスキルが欲しいとのご意見を反映し、「文書作成」授業内に徹底した演習指導を行った。
- ・就職後更に求められる精神面の強さについての対策を講じてはどうかとのご意見を反映し、一部授業内にてマインドフルネスの導入を開始した。
- ・学んだ内容を実践する場の提供の一つとして市内マンションでのコンシェルジュ業務アルバイト委託を開始した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

指導・評価して頂く企業は、高島屋系列のコンシェルジュ専門の派遣事業を請け負っており、既に本コース立ち上げ時より授業の実績があり、本校からの就職実績もある会社を選定する。また歴史もあり知名度も非常に高い高島屋の系列企業である点と、静岡市内の大型商業施設でのコンシェルジュ業務を一括して受託している点も考慮する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

当科目は連携する企業の担当講師によって行う。連携企業の担当講師は、本校コンシェルジュコース担当講師との情報交換を行いながら、週1回のペースで本校の当科目の講義を実施・展開していく。基本事項毎の確認と評価・改善項目を連携企業から教授頂き、次のステップへとつなげ、総復習と振り返り後に学生毎の総合評価を付ける。

(3)具体的な連携の例

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
コンシェルジュ I	コンシェルジュに必要な基本マナー、社会常識や知識・技能の習得を目標とする。毎授業のロールプレイングを通し「知識」のみならず、「自ら考える」事を念頭に学ぶ。	株式会社センチュリーアンドカンパニー

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校教員研修規定」を定め、教員研修規定」を定め、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図る為に「教職員研修」を企業など及び研究機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

商業施設・百貨店入店研修

期間:平成29年12月20日～21日 対象:教員1名 主催:株式会社センチュリーアンドカンパニー

概要:商業施設に於ける案内業務の研修を通し、より業務に即した実践的能力を修得し授業に反映する。

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成29年8月22日(火) 10:00～15:30 ホール

「発達障害の理解と対応」 静岡県発達障害者支援センター あいら

「在学生・卒業生の大規模調査から考える今後の専門学校教育指導のありかた」 ベネッセ教育総合研究所 高等教育研究室

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

観光案内所研修

期間:平成30年12月を予定 対象:教員1名 研修先:TIC TOKYO

概要:観光案内所に於ける案内業務の研修を通し、より業務に即した実践的能力を修得し授業に反映する。

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成30年8月27日(月)

教員指導力UP研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準(1) 教育理念、目標
(2) 学校運営	基準(7) 学校運営
(3) 教育活動	基準(2) 教育活動
(4) 学修成果	基準(3) 教育成果
(5) 学生支援	基準(4) 学生支援
(6) 教育環境	基準(5) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準(6) 学生の受入れ募集
(8) 財務	基準(7) 財務
(9) 法令等の遵守	基準(7) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準(8) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	基準(8) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

「理念を掲げると共に学生一人一人への意識付けを行うことが大切」との指摘があった。今年度より毎週水曜日に1、2年生のペアで朝の周辺清掃を行っており、身近なボランティアとして活動を開始している。地域への貢献活動としてお褒めの言葉を頂くことも多く、徐々に認知されて来ていることを実感している。また同時に、学生自身の「気づき」を高める施策として効果が表れ始めていると講師の先生方からも評価頂いている。今後も引き続き社会貢献に対する働きかけを通じ、「してあげる」のではなく、活動を通じて「教えて頂いている」という視点の意識付けを行っていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
サンチヨリ・リー	イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社 代表取締役社長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
佐々木 智	矢崎部品株式会社 ものづくり推進室ものづくりセンター 管理統括部管理部労務チーム	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
林 浩昭	株式会社センチュリーアードカンパニー 業務推進部 副部長兼企画担当	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
正田 恵造	静鉄観光サービス株式会社 総務部長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
小澤 祐介	株式会社ジェイアール東海ホテルズ ホテルアソシア静岡 総支配人室(総務・人事担当)	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
杉山 敏	株式会社フジドリームエアラインズ 客室乗員部 部長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
平岩 美貴代	株式会社ドリームスカイ名古屋 総務部 総務グループ アシスタントマネジャー	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
塩入 康夫	ANAエアポートサービス株式会社 業務部 グローバル人材戦略部 主席部員	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	企業等委員
高木 真美	在校生の保護者	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	在校生の保護者
小野田 まり	卒業生(同窓会会長)	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

<事務局>

仁科 誠 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 校長
 山崎 弘 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長
 大石 孝 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 総務担当
 横田 雅利 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 公表年月日 平成30年6月29日

URL:<http://www.s-air.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動及び学校運営についての理解を求め、企業等の関係者との連携及び協力の推進に資するため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2) 各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
(3) 教職員	教職員数、組織、研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
(8) 学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
(11) その他	その他の教育活動(附帯事業等)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ 公表年月日 平成30年6月29日

URL:<http://www.s-air.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 国際コミュニケーション科コンシェルジュコース) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			コミュニケーション サポートⅠ	始業式、終業式、国内研修、S-AIRフェスタ等学内の各種行事に参加する事を通して、集団行動と集団内のコミュニケーション方法を学ぶ事を目的とします。	1 通	30	1			○	○	○	○		
○			立居振舞い	社会に出る前の準備として、立居振舞いと自己表現の強化を図っていきます。所作、表現力、話す力などの就職活動の基本を学び習得することを目標とします。	1 後	30	1			○	○		○		
○			キャリアサポートⅠ	就職活動開始までに、必要な基本スキルの修得を目標とします。目指す業界を決め、スムーズなスタートを切るため、各種情報の取り方や筆記試験、業界セミナー等を行います。	1 通	60	2	○	△		○		○		
○			パソコン演習Ⅰ	それぞれの業界で求められるパソコンスキルを想定し、PowerPointソフトをはじめ、文書作成、表計算の基礎を学習し、パソコン操作に慣れることを目標とします。	1 通	60	2			○	○		○	○	
○			英会話Ⅰ	習熟度別のクラス編成授業で、自分自身について英語で表現できることを目標とします。一人ひとりが考えと意見を持つことを重視し、タスクベースのアクティビティを行います。	1 通	60	2			○	○		○	○	
○			英語検定Ⅰ	習熟度別のクラス編成により、それぞれが目指す級及びスコアの早期取得を目指します。総合的な英語力育成のため、講義と併せアウトプットの活動も並行して行います。	1 通	120	4	○	△		○		○	○	
○			サービス接遇Ⅰ	社会人としてのマナーや接客対応の考え方を学び必要な資質を身につける事を目標とします。また、サービス接遇検定や日本語検定取得をめざして検定対策授業も行います。	1 通	90	3		○	△	○			○	
○			ボイス トレーニングⅠ	自分の声を知り、声のコントロール法を習得することを目標とします。発声・呼吸・滑舌・ストレッチを軸に緊張を緩め、声を磨き鍛えることを学習します。	1 通	30	1			○	○		○	○	
○			イメージアップⅠ	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等のメイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目標とします。	1 通	30	1			○	○		○	○	
○			第二外国語Ⅰ	英語以外の他外国語を学び、異文化理解を深めることを目標とします。中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学びます。	1 通	60	2	○	△		○			○	
○			企業研究・ インターンシップ	就職活動の第一歩を実際に踏み出すことを目標としています。学生から社会人へと意識を切り替えるため、面接練習やSPI試験対策、企業の方による学内採用説明会などを実施します。	1 後	30	1		○		○		○		
○			テーマパークⅠ	ケーススタディを軸にし、総合的なテーマパークの理解を目指します。型に捉われない豊かな発想力を育むことを目的とし、ロールプレイングも積極的に行います。	1 通	30	1	○	△		○	○	○		
○			アナウンス	お客様の耳だけではなく心に届く声、伝わる声の習得を目標とします。発声の基本から早口言葉や原稿の作り方、読み方まで、その場に応じた話し方を学びます。	1 通	30	1			○	○		○	○	
○			茶道・着付け	日本の民族衣装である着物と、茶道の知識を通じ、日本の伝統的な立ち居振る舞いを身に付けることを目指します。ビジネスシーンにも生かすことの出来る様、反復練習を行います。	1 通	30	1			○	○		○	○	
○			コンシェルジュⅠ	コンシェルジュに必要な基本マナー、社会常識や知識・技能の習得を目標とします。毎授業のロールプレイングを通し「知識」のみならず、「自ら考える」事を念頭に学びます。	1 後	60	2	○	△	○			○	○	

○		ホスピタリティスキル	ホスピタリティの基本的な知識と判断力を検定試験を通じ習得することを目標とします。毎回小テストを実施し理解を深め、必要なホスピタリティ力を学びます。	1通	60	2	○		○		○	
○		異文化理解	グローバル社会において必要な「異文化理解力」を身につけることを目標とします。世界各国の文化を比較しながら、自国文化や世界事情についても理解を深めます。	1通	30	1	○	△	○		○	
○		プレゼンテーション	ご案内スキルを向上させるために、人前で話すこと、情報をまとめることの方法を学び、実践できる基礎作りを目標とします。課題と手法を示し原稿作成・発表を基本とします。	1前	60	2	○	△	○		○	
○		文書作成	日常業務での報告や社内文書、社外文書等、社会人として必要なビジネス文書の作成スキル習得を目指します。定型文の説明後課題を提示し、作成・発表を基本とします。	1後	30	1	○	△	○		○	
○		コミュニケーションサポートⅡ	コミュニケーションサポートⅠの継続科目として、学内の各種行事に参加する事を通し、集団行動と集団内のコミュニケーション方法を身に付ける事を目的とします。	2通	30	1			○	○	○	○
50		キャリアサポートⅡ	学生が目指す業界への就職内定と、就職後必要になる社会的知識の修得を目標とします。活動者には採用試験に合わせた個別指導を主に、内定者には社会的知識を得る講座を行います。	2通	60	2			○	○	○	
○		パソコン演習Ⅱ	パソコンの幅広い使い方を習得することを目的とします。前半は、検定に挑戦します。後半は、写真やビデオの編集を行いビデオ作成を実習します。	2通	60	2			○	○	○	○
○		英会話Ⅱ	1年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開ができる力の育成を目標とします。毎授業、異なったテーマでそれに基づいた会話の実践をペア・グループワークで学びます。	2通	60	2			○	○	○	○
○		英語検定Ⅱ	習熟度別のクラス編成によりそれぞれが目指す級、スコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。	2通	120	4	○	△	○		○	○
○		サービス接遇Ⅱ	社会人としてのマナーや接客時に心掛けなければならないことを引き続き学習します。資格としてビジネス実務マナーや文書検定、サービス接遇検定の上級合格を目標とします。	2前	90	3			○	○	○	
○		ボイストレーニングⅡ	的確に声のコントロールが出来ることを目標とします。1年次に習得したことを強化し応用編として好感が持てる声を目指してトレーニングを行います。	2通	30	1			○	○	○	○
○		イメージアップⅡ	1年次に引き続き、全身のイメージアップを目標に色彩（カラーコーディネート）を学び、自身を更に輝かせるためのブラッシュアップを行います。	2前	30	1			○	○	○	○
○		第二外国語Ⅱ	英語以外の他外国語を学び、異文化理解を深めることを目標とします。1年次に引き続き中国語または韓国語を選択し、ビジネスや接客の場面で使われる会話を中心に学びます。	2通	60	2	○	△	○		○	
○		テーマパークⅡ	より接客の現場を意識した知識の応用を目指します。ロールプレイングを中心に行い、テーマパークの観点から、心の装い方とおもてなしの在り方を学びます。	2通	60	2	○	△	○		○	
○		アナウンス実践	発声の基本をより強化し、声によるその場に応じた応用力と表現力の習得を目標とします。テーマパークなどアトラクションのスピールを通して好感度の高いアナウンスを学びます。	2通	30	1			○	○	○	
○		華道	日本の伝統美術である和の華道と洋のフラワーアレンジメントの両方の基礎技術習得を目標とします。場面や相手に応じ、必要性に合わせたご提案方法についても学びます。	2通	30	1			○	○	○	
○		コンシェルジュⅡ	臨機応変な状況判断と即時即決を可能にするための、現場に即した対応力育成を目指します。討論とロールプレイングで、魅力的な提案力と確かな説得力を習得します。	2通	60	2	○	△	○		○	
○		異文化接遇	世界各国から訪日されるお客様をお迎えするために首都圏の観光名所と日本の世界遺産について学び、その知識を生かした基本的な接遇英会話の習得を目標とします。	2通	30	1	○	△	○		○	

○		インフォメーションデザイン	接客サービスにおいて、お客様の求める情報を迅速且つ的確にお伝えするために、どのような準備をすれば良いかを学び、自分に合ったスタイルを確立することを目標とします。	2前	60	2	○	△	○	○		
○		EQ開発	セルフコントロールと人間関係のスキルにおける、選択理論心理学の体系的理解を目標とします。ペアワークやグループディスカッションなどの活動を通し学びを深めます。	2通	30	1	○	△	○			○
○		海外研修	海外渡航にて日本以外の異文化を体験することを目的とします。滞在時には、英語でのコミュニケーションに挑戦し、日頃の英語学習を実践します。	2前	90	3			○	○	○	
合計				36科目			1860単位時間(62単位)					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
全科目の成績評価において不可の評価(評価点60点未満)がなく、年間出席時限数が年間消化時限数の85%以上であり、学納金に未納がないこと。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。